



12月1日は、世界保健機関（WHO）が定めた「世界エイズデー」です。東京都では、「世界エイズデー」を中心とする11月16日から12月15日までを「東京都エイズ予防月間」と定めています。

HIV治療の進歩により、HIV陽性者の生活は大きく変化していますが、正確な情報として十分に社会に伝わっているとは言えません。

“HIV／エイズは有効な治療法がなく死に至る病気でしょう”、“同じ職場で働いていたら感染するのでは”“派遣先の会社に知らせておかないとトラブルになるかも”といった無意識の思い込みや偏見（アンコンシャス・バイアス）が未だに根強く残っています。

本講演では、最新のHIV／エイズに関する医療事情を知っていただくとともに、様々な立場のパネリストと一緒にアンコンシャス・バイアス事例や誰もが働きやすい職場づくりについて考えます。

1 令和4年度東京都エイズ予防月間講演会

「HIV／エイズの今～あなたの知識と意識をアップデート～」を開催します！

日 時：令和4年12月12日（月曜日）午後7時から午後9時まで

方 法：オンラインによるライブ配信（事前申込制）

プログラム：第一部 専門家による講演「HIV／エイズの最新医療」

がん・感染症センター 東京都立駒込病院 感染症科医師 矢嶋 敬史郎 氏

第二部 パネルディスカッション

「あなたのまわりにアンコンシャス・バイアスはありませんか

～HIV／エイズを中心に多様性のある職場を考える～」

司会：特定非営利活動法人ふれいす東京代表 生島 嗣（いくしま ゆずる）氏

パネリスト：企業の人事担当者 等（予定）

※矢嶋医師にも引き続き参加いただきます。

詳細及び申込みについては、下記URLをご覧ください。

URL：https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/aids/yobo_gekkan/yobo_g_keihatsu.html

「東京都エイズ予防月間」については、下記URLをご覧ください。

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/aids/yobo_gekkan/whats_yobo_gekkan.html

2 関係資料：「職場とHIV／エイズハンドブック」について

HIV感染症は、服薬によりエイズ発症を抑え、今までとほぼ同じように生活を送ることができるため、多くのHIV陽性者は通院しながら働いています。

しかし、未だに根強い誤解や偏見のため離職を選択せざるを得ないケースなどが見られます。

東京都では、職場において、HIV／エイズの理解を深めていただき、働きやすい職場づくりの手助けとなるよう、職場と HIV／エイズハンドブックを作成しています。ぜひ、ご活用ください。

(1) ハンドブックの主な記載事項

ア 「職場と HIV／エイズハンドブック ～人事・労務・障害者雇用担当の皆様へ」

- ・ HIV 陽性者の現在
- ・ 人事・労務担当者が押さえておきたいポイント
- ・ HIV 陽性者の就労体験談
- ・ 雇用企業からのメッセージ
- ・ WEB サイト・相談窓口の案内

イ 「職場と HIV／エイズハンドブック ～HIV 陽性者とともに働くみなさまへ」

- ・ HIV 陽性者の現在
- ・ HIV 陽性者と職場
- ・ HIV 陽性者の声
- ・ 一緒に働く際に押さえておきたい基礎知識
- ・ とともに働く人たちの声
- ・ WEB サイト・相談窓口の案内

(2) ハンドブックの利用方法

下記 URL より PDF ファイルをダウンロードしてご利用ください。

URL : <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/aids/brochure.html>

3 関連サイト：性感染症総合サイト「東京都性感染症ナビ」

各性感染症の情報を一元化し、アイコンをクリックすることで症状や感染経路、予防方法等が分かるようにしました。また、当サイトでは、都内で患者が急増している梅毒について、詳しくない人でもクイズ形式の e-ラーニングにより、基礎知識や予防方法等を学ぶことができます。

詳細については、下記 URL をご覧ください。

URL : <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/>

